



TOPICS! トピックス

p1 地元食材を使った新商品がデビュー！

p3 Jークレジット制度 知っていますか？



JA今金町公式 YouTube チャンネル登録・高評価お願い致します！



地元食材を使った 新商品がデビュー！

《《令和7年4月1日より販売開始》》

Aコープいまかね店でもお取り扱いしています



Aコープいまかね店
商品陳列の様子

せたな町の 十八番



せたな産米
米麺



北海道の最高峰ブランド米(ゆめ
びりか)を100%使用した、せた
な町産の米麺。コシが強く、もち
もちとした食感とお米ならではの
甘みを味わえます。毎日食べ
たくなるような、食べ飽きしな
いおいしさです。

十八番食材
せたな町
品種名など
米

ポークと
軟白長ネギの
ラー油

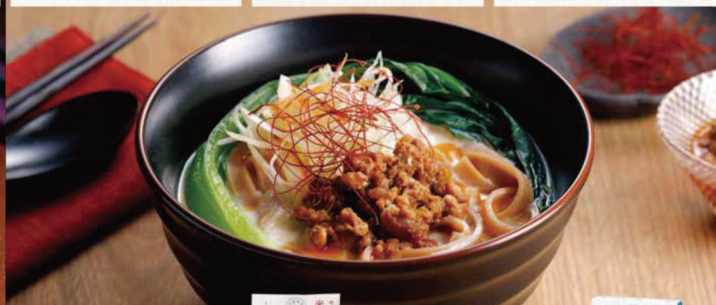


麺にもご飯にも合う万能調味料
の食べるラー油。今金町産の特
産の軟白長ネギと、せたな町産
のブランドSPF豚肉(若松ポー
クマン)をたっぷり使い、軟白長
ネギの甘みと豚肉のうま味がやみ
つきになる味わいです。

十八番食材
せたな町
若松
ポークマン
豚肉
今金町
軟白長ネギ



今金町の 十八番



今金産米
米麺



今金町産米でつくる米麺は、北
海道の最高峰ブランド米(ゆめ
びりか)の玄米粉を贅沢に使用。
お米特有のもちもちとした食感
と、焙煎玄米の香ばしい風味が
食欲をそそります。健康志向に
応える体が喜ぶおいしさです。

十八番食材
今金町
品種名など
米

ポークとトマトの
ボロネーゼ



豚肉のうま味と、味の濃いミニ
トマトの酸味が贅沢なバスタ
ソース。せたな町のブランドSPF
豚肉(若松ポークマン)と、ミニ
トマトはジュシーで酸味のバラ
ンスのよい今金町産の(SC6-008)
を使った本格派の味わいです。

十八番食材
今金町
SC6-008
ミニ
トマト
せたな町
豚肉



理事会報告

第3回理事会(令和7年3月15日)

報告事項

1. 農業委員会総会報告について
2. 第一委員会報告について
3. 総会の招待者について
4. 総会の進行要領について
5. 営業時間変更のお知らせについて
6. 令和6年度年間経営定期点検実施報告書について
7. 資産査定の結果および
償却・引当金の内部監査報告について
8. 内部監査報告について
9. 令和7年度種子馬鈴薯作付面積配分について
10. 「JAバンクの内部管理態勢構築にかかる指針」
の変更について
11. 令和6年度てん菜共同販売について

監査報告

議決事項

- 議案第1号 令和6年度事業決算(案)の承認について
- 議案第2号 令和7年度事業計画(案)の承認について
- 議案第3号 総会の招集及び総会に付議すべき議案
並びに総会参考資料について
- 議案第4号 議決権行使書面の取扱について
- 議案第5号 組合員の資格審査について
- 議案第6号 令和7年度コンプライアンス・プログラム
の策定について
- 議案第7号 農業協同組合検査指摘事項
改善状況等調書・報告書について
- 議案第8号 育児および介護休業規程の改正について
- 議案第9号 個人情報取扱規程の改正について
- 議案第10号 特定個人情報取扱規程の改正について
- 議案第11号 役員と組合の取引基準について



女性部総会

総会終了後には、道外視察研修等の参加者から活動報告があったほか、今金町保健福祉課による健康講話が行われました。

活動計画に対しては「部員が減少しており三部会制にとられず全体としての活動も必要ではないか」という意見も出され、今後の課題として認識が共有されました。

議事では5議案すべてが承認され、役員改選とあわせ規約改正により役員体制の見直しが行われました。新部長には豊田地区の樋口喜美枝さんが就任されました。

開会では津村明美部長から「女性部本来の目的の一つは仲間づくり。活発な活動と参加をお願いしたい。」と挨拶されました。

3月5日、JA今金町大会議室においてJA今金町女性部は第66回通常総会を開催しました。いっい会11名とフレッシュミズ部会5名を含む部員31名が参加しました。



JA女性綱領を朗唱する部員らの様子

フレミズ道内視察研修

3月7日、JA今金町女性部フレッシュミズ部会は道内視察研修を行いました。研修先は株式会社ニチレイフーズ森工場及び函館牛乳あいす118で、部員5名と一般1名が参加しました。

株式会社ニチレイフーズ森工場では、会社概要のほか環境への取り組み等について学んだほか、工場製造ラインの見学や、コロケ等の試食も行われました。参加者には馬鈴薯の生産者も多く、実際に原料として使用する実需者との懇談は有意義でした。

函館牛乳あいす118では、バターづくり体験を行いました。バターづくりは、冷えた生クリームと牛乳を3対2の割合で小瓶に入れ、5分程度振って作ります。参加者らは出来たてのバターをトーストに塗って試食し、手作りの味を楽しんでいました。参加者からは「未経験の学び・体験があつて楽しい」と好評の様でした。



㈱ニチレイフーズ森工場で研修する様子

JA道南地区女性協総会

また、役員改選が行われ、JA今金町の樋口喜美枝さんが会長に就任しました。勇退したJA新函館の佐藤美登子さんは、全道女性協の会長に就任しました。

総会終了後には、部員研修会としてエコープマーク品の米酢について講演を聞いたほか、東北北海道リーダー研修とJA道南地区女性協国内農業視察研修の参加報告がありました。また、「タイトルコースターづくり」にも挑戦し、思い思いの柄を作り上げ楽しみました。

3月13日、JA道南地区女性協議会は北斗市農業振興センターにおいて通常総会を開催しました。管内の女性部員や関係者合わせて59名が一堂に会し、JA今金町からは部員6名が参加しました。

議事では、4議案すべて承認されました。予算において賦課基準の見直しが提案され、部員減少により支出削減に努めても予算不足の懸念があり、部員割が1部員200円増額となりました。



JA女性の歌を斉唱する様子

フレッシュミズ部会総会

3月28日、JA今金町女性部フレッシュミズ部会は、JA今金町小会議室において通常総会を開催し、会員7名が参加しました。

議事は5議案すべて承認され、役員改選とあわせ規約改正により役員体制の見直しが行われました。新会長には鈴岡地区の吉本栄理子さんが就任されました。

令和6年度の活動では、大根栽培をテーマにした町内視察研修や、檜山北部フレッシュミズ交流会、練り切りづくり料理教室などを実施しました。子供連れで楽しめる活動もあり、参加しやすさが重視されました。

令和7年度活動計画では、前年の事業も踏襲した内容となりました。「気軽に楽しめて仲間づくりにもなる」を合言葉に、新しい仲間づくりにも取り組む予定です。

また、同部会の愛称を検討し、既に馴染みのある略称「フレッシュ」を用いて、「フレッシュ会」に決定しました。



議事について思案する様子



J-クレジット制度 知っていますか？

J-クレジット制度とは

省エネ・再エネ設備の導入や森林管理等による温室効果ガスの
排出削減・吸収量をクレジットとして認証する制度です

温室効果ガスの排出削減または吸収量の増加につながる事業の実施

省エネ設備の導入
(燃料転換、高効率化)



ボイラーの導入



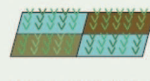
照明設備の導入

再生可能エネルギーの導入



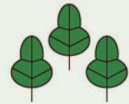
太陽光発電設備の導入

農業での取組



中干し期間延長、
バイオ炭施用等

適切な森林管理



植林・間伐等

つくるひと
J-クレジット創出者 (中小企業、農業者、森林所有者、地方自治体等)

CO₂ 等の排出削減・吸収量
(J-クレジット)

資金循環

目標達成、CSR 活動
カーボン・オフセット



つかうひと
J-クレジット購入者 (大企業、中小企業、地方自治体等)



CDP・SBTへの活用
RE100の目標達成

温対法 省エネ法



温対法・省エネ法の報告



カーボン・オフセット



SHIFT 事業

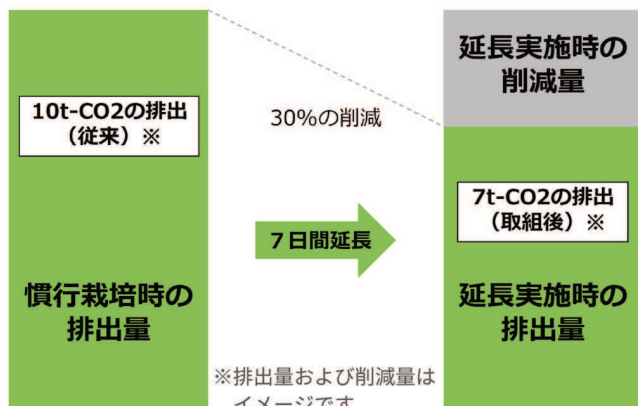
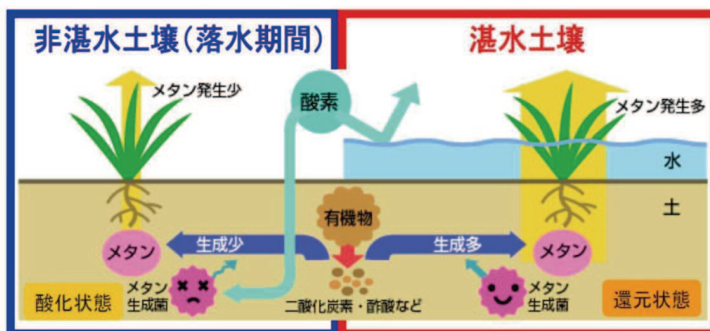
経団連カーボンニュートラル
行動計画の目標達成

* 活用先・報告先により使えるクレジット種別に制限がございますのでご注意ください。

農業分野でもクレジット認証されています！

- ①牛・豚・ブロイラーへのアミノ酸バランス改善飼料の給餌
- ②家畜排せつ物管理方法の変更
- ③茶園土壌への硝化抑制剤入り化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料の施肥
- ④バイオ炭の農地施用
- ⑤水稻栽培における中干し期間の延長

水稻栽培では、水田に水を溜めることでメタン生成菌が働きやすくなり、メタンガスを生成しやすい環境となります。



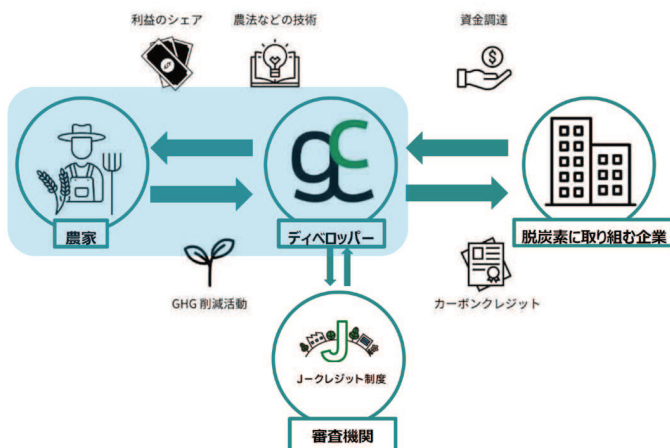
農研機構の研究では、中干期間を慣行の日数よりも7日間延長し、メタン生成菌を不活性化することにより、水田から排出されるメタンガスが30%削減されることが分かっています。

※中干(なかぼし)とは
水稻栽培において広く行われている水管理作業で、一時的に水田から水を抜いて干すことをいいます。水を抜いて土壌を乾かし、空気に触れさせることで還元状態から酸化状態に切り替え、根の発達を促したり、過剰な分げつを抑制したりすることが主な目的です。

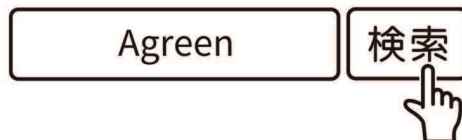
＜稲作コンソーシアムについて＞

水稻耕作者のJークレジット創出と販売をサポートすることを目的に発足した組織で、2023年に農林水産省の認可を取得。

企業と審査機関を仲介し、Jークレジット創出に必要な複雑な計算と審査費用負担を行い、販売に必要な営業活動を代行することで、水稻耕作者の手間を最小限に抑えつつ収入増をフォローしています。



詳しくは WEB サイト「Agreen」をご参照下さい。



J A へのお問い合わせは
農業経営課 (82-0212) にお問い合わせ致します。

組合員・農業者の皆さまへお知らせです

【今金町鳥獣被害防止対策事業】

近年、ヒグマ・エゾシカの農地への出没が急増し、農業被害発生危険性が高まっていることから、今金町とＪＡ今金町では自助努力によりヒグマ・エゾシカの農地への侵入を防止するための電気柵、発光機具、大音量等発生機具導入を支援しております。

●受付期間 令和７年８月２９日（金）まで ※ただし、土日祝日は除く

●対象設備

（ア）農地への侵入を防止するために敷設する感電式の防護柵、
および設備稼働に至るまでに必要な通電装置・発電装置・危険表示板等の部品

（イ）威嚇に供する発光機具、大音量等発生機具、
および施設稼働に至るまでに必要な発電装置等の部品

●支援措置 設備購入に要した費用の３０％以内補助 補助金上限１人３０万円
（※今金町とＪＡ今金町で各１５％負担）

お問合せ：今金町農林振興課（82-0111）
担 当：藤井・若林・相馬

※購入前には必ず今金町役場農林振興課に相談願います。

【大型特殊・けん引免許取得助成】

●対象者 農業に従事している経営者
及び家族または法人構成員等

●補助率 １免許３万円（定額）で助成
（複数取得可）

●実施期間
令和６年２月１日～
令和９年１月３１日（予定）

●申請方法
（免許取得後）領収証、免許証の写しを持参

●申込先 ＪＡ今金町農業経営課

【今金町農業関連資格取得支援事業】

●対象者
・町内在住の農業者（経営者、後継者、
法人構成員、家族従事者等）
・新規で農業用ドローン免許取得する者
（更新等は対象外）

●補助率 町２５％、ＪＡ２５％（自己負担５０％）

●受付期間
令和８年２月２７日（金）まで
※ただし、土日祝日は除く

●申請方法
受講前に申請書を提出（金額がわかるものを添付）

●申込先 今金町役場 農林振興課（82-0111）
担当：荒川・蓬田

詳細はそれぞれの申込先へお問い合わせ下さい。

各組合員組織で総会が行われました

※一部抜粋

今金町稲作部会 第 51 回通常総会

日時：令和 7 年 3 月 14 日（金）13:30

会場：JA 今金町 大会議室



今金町酪農部会 第 51 回通常総会

日時：令和 7 年 3 月 24 日（月）13:30

会場：JA 今金町 大会議室



金原鈴金 HS 農業推進協議会第 5 回通常総会

日時：令和 7 年 3 月 25 日（火）13:30

会場：金原基幹集落改善センター



檜山北部広域根菜部会 第 1 回通常総会

日時：令和 7 年 3 月 26 日（水）15:30

会場：JA 今金町 大会議室



今金町和牛生産改良組合 第 36 回通常総会

日時：令和 7 年 3 月 27 日（木）10:30

会場：JA 今金町 大会議室



玉掛け技能講習

J A 今金町で現地開催

3月17日から5日間、J A 今金町大会議室および倉庫において「玉掛け技能講習」が行われました。組合員を中心に60人弱が受講しました。

玉掛け技能講習は、クレーンや移動式クレーンなどを使用した重量物の吊り上げ作業を安全に行うために、必要な知識と技能を習得するための資格です。1t以上の荷重を扱う作業では、労働安全衛生法に基づき資格取得が義務付けられています。

農業は様々な機械を扱う業種であり、それぞれ国で定められた資格取得や教育の受講が必要です。農作業事故防止の観点からも、資格取得等による安全知識向上を図りましょう。



学科講習を受ける受講者らの様子

今金町稲作部会

育苗講習会を開催

3月28日、今金町稲作部会は J A 今金町大会議室において水稻育苗講習会を開催し、水稻生産者28名が参加しました。

水稻育苗が4月中旬頃から始まるのを前に、講師の方々から最新の技術や資材などについて学びました。

農業改良普及センターは、「昨年度の作柄と栽培管理で改善すべき技術について」「育苗日数の適正化等について」などのテーマで講演しました。近年の気象傾向をみると春先も温かくなってきたており、従来より育苗の時期や日数を変えていく必要性が語られました。

また、資材メーカーからは育苗時に用いる農業や保温資材の紹介がありました。



講演を聞く参加者らの様子

豊穡の秋を願って

水稻温湯消毒はじまる

「表紙にも写真を掲載」

3月27日より、J A 今金町玄米センターにおいて水稻種子の温湯消毒が始まりました。

温湯消毒は種もみを60〜65℃のお湯に浸して病原体を消毒する技術です。農薬を使用せずに病害を防ぐことができるため、農薬の使用量を減らすことができ、環境に配慮した消毒方法です。いもち病や苗立枯細菌病などに効果が期待されています。

温湯消毒を終えた種子は、水稻耕作者に引き渡され、浸水して芽出し作業を行った後、種まきが行われます。

令和7年度の温湯消毒は、5トン程度を予定しており、4月18日まで作業を行う計画です。



温湯消毒が終わった種子を引き上げる様子

今金町稲作部会

J クレジット説明会開催

3月14日、今金町稲作部会は J A 今金町大会議室において J クレジット制度説明会を開催しました。組合員を中心に50名が参加しました。

J クレジットは二酸化炭素など温室効果ガスの排出削減量・吸収量をクレジットとして売買する仕組みです。農業分野の中でも水稻栽培では「中干期間の延長」がメタンガスの排出削減効果があるとして認証を受けています。中干期間の延長に取り組むことにより環境への貢献となるだけでなく、取り組み自体が J クレジットで収益化できるメリットがあります。

J クレジットに関するお問い合わせは農業経営課へお願い致します。



説明を聞く参加者らの様子

JA道南地区青協総会



JA青年組織綱領を朗唱する参加者らの様子

3月4日、JA道南地区青年部協議会は北斗市農業振興センターにおいて通常総会を開催しました。管内の青年部員と関係者合わせて66名が一堂に会し、JA今金町からは8名の部員が参加しました。

議事では、4つの議案がすべて承認されました。事業報告では、8月10日に開催した「食と農と愛をつなぐフェスティバル」の成果や、全道JA青年部大会における「青年の主張」が優良賞を受賞したことなどが報告され、道南地区の活動が地域農業振興や人材育成等につながることを共有されました。役員改選では、会長にJA新函館の柴田真吾さんが選出され、JA今金町からは副会長に土橋龍二さん、監事に黒沢正雄さんが選出されました。

総会終了後には農政学習会を開催し、農政運動の重要性を学びました。

青年部総会

総会終了後には、前年度の活動内容について報告会が開催されました。町長と懇談の場を設け農業について認識を共有したことや、札幌市のチカホで特産品販売会を初開催したことなどが報告され、部員に成果が共有されました。

3月19日、JA今金町青年部はJA今金町大会議室において通常総会を開催し、部員16名が参加しました。

議事では、4つの議案がすべて承認されました。事業計画では、様々な課題に対して盟友の結束力により解決に取り組むことが大事だとし、プロジェクトチーム制等による参加促進の重要性が確認されました。また、役員改選では、部長にトマンケシ地区の黒沢正雄さんが就任しました。質疑では、決算・予算に関する質問や、「活動成果を部外にも更に発信してはどうか」など多くの建設的な意見が出されました。



新役員を代表して挨拶する黒沢新部長の様子

職員の採用について

◎令和7年4月1日付

新卒採用

(※試用期間2ヶ月間は臨時職員)

・小笠原拓士さん

おがさわら たくと
管理部管理課付

◎令和7年4月1日付

継続嘱託職員採用

・小池正道さん

こいけ まさみち
経済部店舗購買課配属

よろしくお願いいたします

職員の退職について

◎令和7年3月31日付

定年退職

・小池正道さん

経済部店舗購買課勤務

(※4月1日より再雇用)



花束贈呈を受けた小池正道さん

長年の奉職お疲れ様でした

資格合格者について

◎農協職員資格認定試験

中級

・河島誠弥さん

営農部農業経営課勤務



合格おめでとうございます



JAバンクアプリ

手軽に管理できるぞう。



JAバンクアプリプラス

いつでも手続きできるぞう。



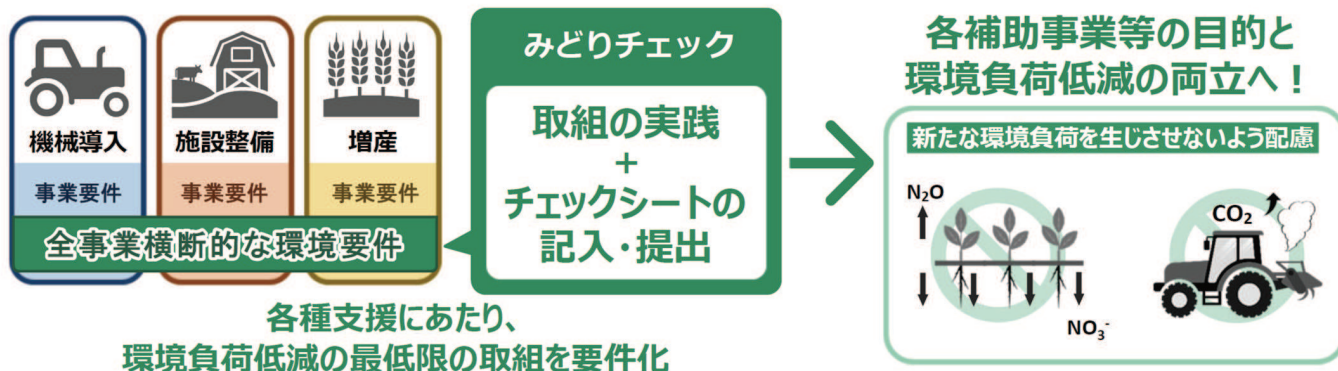
©よりぞう

「みどりチェック」に取り組みましょう！

(環境負荷低減のクロスコンプライアンスについて)

「みどりチェック」のねらい

「みどりチェック」(環境負荷低減のクロスコンプライアンス)は、農林水産省の全ての補助事業等において、チェックシート方式により、最低限行うべき環境負荷低減の取組の実践を要件化するものです。これにより、事業を実施する際に新たな環境負荷が生じないようにし、各補助事業等の目的と環境負荷低減を両立することを目的としています。



どうして農林水産業で環境負荷低減に取り組まなければならないの？



農林水産業には環境により多面的機能がある一方で、環境に負荷を与えている側面もあります

農林水産業は環境の影響を受けやすいことに加え、農林水産業自体が環境に負荷を与えている側面もあります。

このため、日頃の事業活動の中で新たな環境への負荷が生じないように、7つの基本的な取組を実践することが重要です。

「みどりチェック」に取り組むことで、皆様が日頃から環境にやさしい取組を実践されていることを明らかにし、消費者の理解と評価を深めることにもつながります。



「みどりチェック」は誰もが取り組める環境負荷低減への「初めの一歩」です。

「みどりチェック」の7つの基本的な取組とポイント

